

「産婦人科の実際」投稿規定

■投稿論文

- 産婦人科に関連する領域の原稿で、すべて実地臨床に沿った論文に限ります。
- 他誌への投稿中の論文は御遠慮ください。

■原稿の採否について

- 原稿の採否は編集委員会にて採否決定されます。
- 編集方針に従って、原稿の加筆・削除・改稿をお願いする事があります。
- 採否の結果はご通知いたします。
- 掲載料は原則として無料です。

■論文の種類と原稿枚数（図表含）

- 投稿論文の種類と原稿枚数の目安は以下の通りです。
今日の話題：8,000字 総説：8,000字 原著：8,000字
診療：8,000字 臨床経験：8,000字 症例：6,000字
- 論文の掲載欄は編集委員会でご最終決定いたします。

■論文の書き方

- 論文原稿は平仮名まじりの口語体、新かなづかいの横書きとしてください。
- 論文原稿は一般的なアプリケーションで作成し、A4判でのプリントアウト1部と、CD-Rなどのメディアに記録したデジタルデータを同封してください。
- 論文には表紙をつけ、下記を明記してください。
 - 論文タイトル
 - 希望掲載欄
 - 執筆者名（9名以内）とその読み仮名
 - 執筆者の所属と肩書
 - 校正者名（住所、番号、E-mailアドレスなど）
- すべての原稿に250字以内の要旨をつけてください。
- 記述の順序は原則、要旨・はじめに・方法・成績・考察・おわりに・文献・図表（写真）としてください。
- 度量衡の単位はcgs単位を用い、数字は算用数字を用いてください。
- 英語のつづりは米国式（例：estrogen, gynecology）で外国の人名、地名は原語のままで記載してください。

■文献について

- 文献引用は、論文に直接関係あるもの20編以内にとどめ、末尾に一括して引用した順に掲げてください。
- 著者名は筆頭者のみとし、2人目からは“ほか”または“et al”としてください。
- 論文の表題を必ず入れ、次のように記載してください（本文中では引用部位の右肩に文献番号^{1) 2)}を必ず付けてください）。

- 進 純郎ほか：一絨毛膜性双胎の問題点。産婦の実際 42：203-210, 1993
- 星 和彦ほか：男性不妊。産婦人科学書Ⅰ（編：森崇英ほか），p508-520, 金原出版, 1994
- Gilstrap LC et al：Thetransferofthenucleosideanaloggancicloviracross theperfusedhumanplacenta.

AmJObstetGynecol 170：967-973,1994

- Nicolaides KH et al：Utrasonographicallydetectablemarkersoffetalchromosomaldefects(ed：Neilson JP et al).p41-82,Oxford University Press,1993

■図表について

- 図（写真を含む）や表は、本文中に挿入せず、必ず1枚ずつ別紙に添付してください。
- 図表には必ずタイトルを付けてください。
- 図表の挿入される位置を原稿に明記してください。
- 図表を引用の際は、出典を必ず明記してください。
- 他誌掲載の英語の図表を引用する場合は、可能な限り日本語にしてください。
- 他誌より図表を転載する場合は、出版元の許諾を得てください。

■校正について

- 著者校正は1回とします。校正に際しては文章の大幅な書き換え、追加などはご遠慮ください。

■贈呈誌等について

- 論文筆頭者に掲載誌を1部ならびに掲載論文の著者閲覧用PDFを贈呈いたします。別刷の無料贈呈はいたしません。

■著作権について

- 本誌に掲載する著作物の複製権、翻訳・翻案権、上映権、譲渡権、公衆送信権（送信可能化権を含む）、貸与権、二次的著作物への利用に関する原著作者の権利は、金原出版（株）に譲渡されたものとし、これら諸権利の許諾は金原出版（株）が行います。

■原稿送付先・お問い合わせ

〒113-0034 東京都文京区湯島 2-31-14
金原出版（株）雑誌部
「産婦人科の実際」編集室
TEL03-3811-7165・FAX03-3813-0288
E-mail：sanpu@kanehara-shuppan.co.jp

